



蒲池 恭一議員

### 中山間地域総合整備事業 (基盤整備)の進捗状況、 東部地区の採択は?

[町長] 関係機関に  
要望を行っている。

**問** 中山間地域総合整備事業の進捗状況、懸念されている和水東部地区の23年度採択は凍結されたが、24年度の採択は出来そうなのか伺う。

**答** (町長) 関係受益者及び議員の皆様は大変心配いただいているところであり、町としても様々な機会をとらえ、関係機関に要望を行っている。先般(12月7日)も農林水産省関係にそれぞれ要望活動を行い、農村振興局、中山間地の振興課から「中山間地域における農業生産の継続を図ると共に、地域における定住促進、国土環境の保全という観点から重要であると認識している。よって、内閣の地域自主戦略交付金により実施しており、県の裁量により、事業の緊急性など勘案し、地域のニーズに応えた整備を図る。」と文章にて返答が来ており、今後においても、あらゆる関係機関にしっかりと要望しながら、県の担当者にも配分に関してしっかりと配慮頂くようお願いしていく。

**答** (事業課長) 和水西部地区の進捗状況は、今年度大田黒工区及び大平・矢部谷工区が工事を着工している。鶴田和仁淵工区、永浦工区及び竹本工区につきましては、換地委

員会を設立し、従前地の調査、現地確認、換地原案の作成、公開まで終了している。

和水東部地区については、平成23年度採択を目指してきたが、熊本県全部の新規採択が凍結となり、事業採択がなされていない状況である。

しかし、町としても南関町と設立している和水、南関地区、中山間地域総合整備事業推進協議会、町独自で熊本県及び九州農政局、農林水産省、関係機関に要望活動を行っているところである。今後も議員各位には要望活動への協力をお願いする。

**問** 今年度の6月定例会の折でも申ししたが、基盤整備は我が町の農業を支えていく上で、絶対的なくつてはいけないと思っている。私自身も先日の12月7日、国(農林水産省関係)への要望に同行し訴えてきた。

出来得る限りの尽力をつくし、西部地区の早期完了と、東部地区の採択に向けて頑張っていた



土音をたてて圃場整備が進む『大田黒地区』

たいと思うし、若輩者ですが、議員という立場の中で、要望等で役に立つことがあれば、今後も同行して訴えていきたいと思う。

**答** (町長) 今後も議員各位に要望活動への協力をお願いする。

その他の一般質問は、次の通り。

- ◎今年度の金栗マラソンでの反省点、来年に向けての抱負
- ◎和水町の花・木・鳥について
- ◎複式学級の学習について

## 郷土を築く自治プロジェクト 構想とまちづくり基本条例は どうなっているのか？



小山 暁 議員

[町長] 24年度中に後期総合計画の策定と合わせて条例制定について議論していきたい。

**問** 合併当初から新町建設計画の重点施策として、自分たちの町は、自分たちでつくるという自立した住民自治のまちづくりを描いてきたが郷土を築く自治プロジェクト構想はどうなったのか、又、まちづくり基本条例制定についても合わせて伺う。

**答** (町長) 郷土を築く自治プロジェクト構想については、和水町まちづくり総合計画に掲げているが、具体的には、自立的コミュニティ形成とし、里づくり運動推進と町民の活動支援の2つを基本施策としている。

まちづくり基本条例については、後期総合計画の策定と合わせて議論していきたい。

**問** この問題を提起した背景には、合併当初から今日まで、何回となく質問してきたが、実態は何も変わっていない。地方分権社会に対応する自立したまちづくりというのは、合併当時の重点施策の一つであつて、郷土に誇りを持ち、地域を支える人材や組織を育てていくまちづくりこそが『希望あふれ、人と地域が輝くまちづくり』に直結するものとして理解しているが、住民自治の強化や住民と行政の協同によ

るまちづくりのしくみを考えることが、今日の行政の地方分権に対応する自立したまちづくりのスタンスではなからうかと考えるが、町長の所見を伺いたい。

**答** (町長) 和水町の自主的な自治活動を推進していくことについては、しっかりと理解・認識している。

今後は、合併当時の計画を見直し、強化する取り組みについては、十分協議を重ねていきたい。

**問** 平成20年3月に策定されたまちづくり構想ではこのことについて3つの指針が示されている。

一つは、地域の活力が減退しないよう地域力を高める。

二点目は人を誘致して交流を促進し、人口の減少に歯止めをかける。

三点目は、全ての町民が地域を支え合うしくみをつくることを指している。

まずは、行政から積極的に地域づくり推進組織をつくるよう仕掛けていくべきではないか。

そうしないと、組織はおろかまちづくり構想そのものが、絵に描いたモチになりかねない。

今後、町として地域で支え合う仕組みづくりをどのように考えているのか伺いたい。

**答** (町長) 質問の主旨、内容はしっかりと受け止めて、今後関係各課・担当と一緒に、取り組んでいきたい。

その他の一般質問は、次の通り。

◎小中一貫教育の推進

◎健康と福祉の祭典・ねんりんピック交流ベタンク大会について



ペタンクによるまちづくり